

日に新た

いっしょになぞ
子どもの幸せを
考えよう号

第五十二号
大島中学校
学校バザー
令和七年十月十五日

(題字は二年一組、大内紗乃さんです。)

育つ環境をつくる

人き育てるは「環境」

親が強制し子どもが受け身では
子どもの能力は出てこない

子に対して親が担うべき役割は

「子育てる」ことではなく
「子育つ環境を」つくること

大人と子ども 上司と部下
まったく同じことである

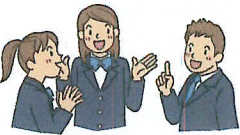
部下が育つ環境をつくる
場を与える

育とうとする気持ちや芽生えたら
それを大切にする

少々進歩が遅くても
少々回り道するようでも

がまんすること
じっと見守ること

「考えてみる」
大久保寛司 文庫



教育相談!!

ご来校ありがとうございます

11/25(火)に行います。

お忙しい中、時間を割いていただき
感謝いたします。



短い時間ですが、保護者の皆さんと私たち教員が共同歩調を
お子さんへを考慮のし、貴重な機会であると思っております。
ふだん、なかなか顔を合わせる機会がありませんので、お互いを知
りあえるチャンスでもあります。どうもよろしくお願いいたします。



もっともっと本に親しもう!!

～第3回 教務主任 宮本聖大先生～



- ・私は「3秒でハッピーになれる読名言100」を紹介
します。
- ・この本に出会ったのは、新採用3年、3年生の学級
担任をしていた時でした。
- ・受験を控えた3年生が、落ち込んでいる時、なにか元
気が出る時に、気持ちよく立ち上がる本がほしいと
思っていたのです。
- ・印象に残っている言葉は
「人生の目的は、知識ではなく行動である」
トマス・ハンリー・ハクスリー (生物学者) さん。
- ・今では、私自身も、この本の元気をもらっています。
- ・学校では朝読書の時に、よく読んでいます。
- ・おすすめの本書!!

心の解放感

スクールカウンセラー
菅原理恵



「小さな悩み」こそ聞かせてください

保護者のみなさま

これまで、思春期のお子さんの様子やかかわり方について、様々なテーマでお話させていた
きました。お子さんの複雑な成長に寄り添う中で、保護者の方ご自身が知らず知らずのうちに不
安や疲れを抱えていらっしゃるかもしれません。

「たいしたことないから」「親として、まずは自分で頑張らなきゃ」と、ご自身の悩みをひとりで抱
えこんでいませんか？お子さんの小さな変化や違和感、そして何よりも保護者の方自身の心のも
やもやこそ、問題が深刻化する前に立ち止まるための大切なサインです。

そこでスクールカウンセラー(SC)とお話してみませんか？

「保護者の方ご自身の気持ちを整理し、安心感を取り戻すための時間」ととらえていただければ
と思います。誰かに話をすることで気持ちの整理ができ、不安が安心に変わることもあります。

SCを利用するのは「何か特別なことがあってから」ではありません。「何となくこれまでと違う」
といった「小さな気づき」の段階でのご利用をお待ちしています。

話すことで、心が軽くなることが、お子さんの成長を見守るための一番の力になります。ご自身
の心を大切に作る時間として、SCをご活用ください。

今後も引き続き、SNS など思春期に大切なテーマについて、お話していく予定です。

暖かい恰好で登校させてくださいネ!! (笑)